

茨城県立下妻第一高等学校出前授業 議事録

日時 : 7月11日(木) 12:25~14:25
出席者 : 塚田委員長、西委員、田中氏(日立製作所)、加藤職員
参加者 : 文理選択前の1年生全員(280名) + 理系2年生の女子生徒(75名)
内容 :

11:30 下妻一校到着(準備)
12:25-12:30 開会の言葉...石川校長
12:30-12:40 LAJ委員会の紹介/機械工学とは?...塚田
12:40-14:25 講義
田中 : 機械系の仕事と働き方~身の回りの機械工学~
塚田 : 自動車から広がる世界
西 : 燃料電池~家庭から世界レベルの研究まで
14:25-14:30 お礼の言葉...生徒代表(2年生)

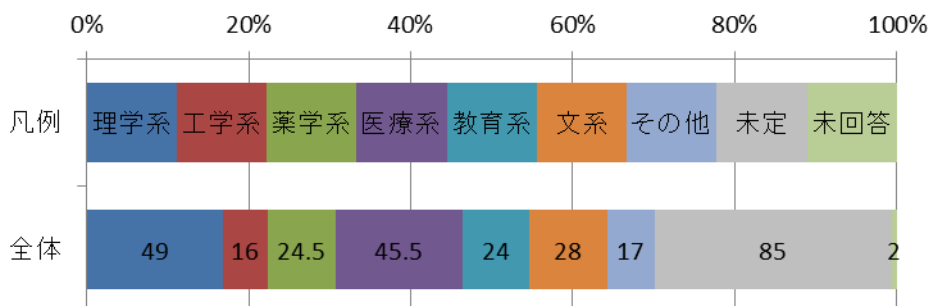
○状況詳細:

- ・今回の対象生徒は、文理選択前の男女生徒(280名)と理系選択2年女子(75名)とし、機械工学を知ってもらうことと、ロールモデルを示すこととした。
- ・塚田委員長より日本機械学会およびLAJの紹介、機械工学分野の紹介、女性エンジニアの社会的位置付け、社会の期待などについて説明がなされた。
- ・田中氏(日立製作所)より、電気エネルギーを熱エネルギーに変換している調理家電の紹介、エンジニアの仕事、進路選択、子育てとの両立などについて紹介された。
- ・塚田委員より、自動車と身近なモノに共通する機械工学の例、現職までの歩み等が紹介された。
- ・西委員より、燃料電池の原理と研究内容、現職までの歩み等が紹介された。

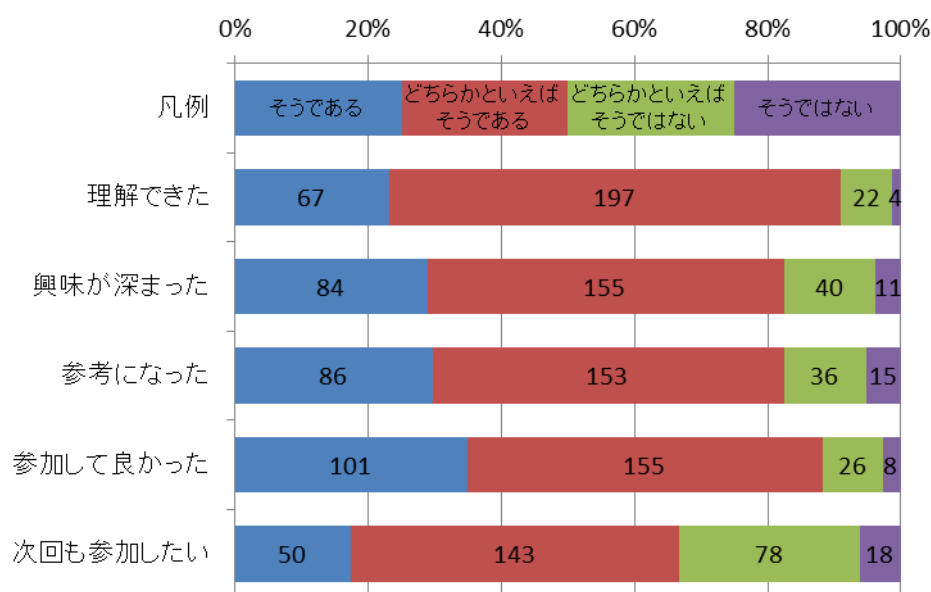
○アンケート結果

- ・理系進路希望者(理学、薬学、医療)で、参加者の45%程度を占める。
- ・進路分野に関係なく、おおむね講義の理解、関心も高く、高評価となった。

参加者の内訳



授業に関する結果



○講義風景



○まとめ

- ・エアコンが無く、蒸し暑い体育館での開催だったが、最後まで生徒の皆さんが真面目に聞いてくれたことは、講師として有難いことであった。
- ・○参加者数も 355 名と多く、体育館での開催も初めてだったため、デモンストレーションが燃料電池のみとなってしまった。今後の改善点と考えている。
- ・今回は「機械学会」主催の出前授業だったため、内容が機械工学に偏っていたが、「進路決定を考える際の参考になった」との声を多く聞くことができた。微力ながら、キャリア教育に貢献できたと感じている。
- ・機械工学だけでなく、他の分野についても知りたいとのニーズがあった。
⇒ LAJ として機械工学を広めるだけでなく、今後は他学会と共同での出前授業を検討したい。